

42 破天荒

令和 二年度版
創刊
第四十五号

42 回生を春を来週より自由登校へ



共通テスト激励会より

本日をもって、出欠を伴う登校は、二月の卒業式予行と、卒業式本番を残すのみとなりました。学年通信「破天荒」も、本号を含めてあと僅か。
少し、感慨深いものがありますが、想い出に浸るにはまだ早いですね。
今号は、次週からの自由登校中の生活について、連絡をしておきたいと思えます。

一. 規則正しい生活の継続を

「自由」な生活になって一番に崩れるのは、生活時間帯、特に、「起床時間」です。遅刻の心配がなくなり、目が覚めるまで寝る。遅い時間から始めて、何となく時間を過ごし、遅い時間まで起きていることで、「自分は頑張っている」という自己満足に陥ります。

「成功に近道なし」

当たり前な毎日をどう貫くか。単純だが継続することを揺るがずやり抜くことが、実は、成功への道につながります。頑張りましたよ。

二月三日(節分、今年は二月二日らしいが)から、国立大学個別試験向けの補習が始まり、続きます。規則正しい生活の継続に、是非、その機会も利用してもらいたいと思います。

二. 健康、命を大切に

進路実現に向けて頑張る人も、進路実現のスタートを手に入れてる人も、焦り・油断が、つい生まれる時期でもあります。交通事故・諸々の事故・事件に巻き込まれることのないように心掛けてください。全ては、これから始まる新たなゴール、新たなスタートを獲得し続けるために。

三. 入試結果について

AO・総合型選抜・学校推薦型選抜等、年末までの入試に関して、気になったのは、「合格」については、その報告は比較的タイムリーでした。勿論、合格の報告は嬉しいですが、それ以上に、「不合格」の報告の方が大切です。何故ならば、心のケアは勿論ですが、今後のことをどう詰めていくかは、状況把握が早ければ早いほど、手立ても自分を活かす機会も、その幅が広がります。逆に言えば、報告がないとか遅さは、活かせる機会を逃すことにもなります。

自由登校中は、なかなか顔を合わせるものが少なくなるため、担任とのやり取りの約束に基づいてになります。これはすごく大切なことです。できる限り、次の相談・進路確定の際には、学校に足を運び、担任を筆頭に、お世話になった先生方へのお礼を、面と向かって伝えてもらいたいものです。

また、担任との相談が必要になった者こそ、まとめて報告ではなく、担任との約束に則り、そつなく行動するように。

これらのことは、卒業式後も同様です。卒業式という一つのけじめではあります。君たちの身分は、三月末までは相生高校の生徒です。そのことを忘れず、行動をしてください。

保護者の皆様へ 大切な連絡

授業料・学年費が引き去られていた口座は返金が確認できるまで閉じないで下さい
卒業式辺りで、返金はその口座にあります。
くれぐれも、急いで閉じないで下さい。
そこそこの金額になります。

国公立大学出願に寄せて

本号が皆さんの手元に届くときには、すでに国公立大学出願を終えている人も多いと思います。ここで取り上げるのは、取り立てて新しい話ではなく、今まで皆さんに伝えてきたことの上書きであって、私自身の四十二回生に対する最後のあがきだと思ってください。

皆さんは、どこに焦点を持って出願先を考えましたか。

- 一．なりたいた自分を叶えるための可能性
- 一．目指した自分を押し通す
- 一．目指した先を受けたという事実を押し通す
- 一．もういいかなあと妥協する
- 一．自分の想い通りにならなかった自分に「よく頑張ったよ」と納得させる

人は、いろんな意味で弱いものです。ただ、この先生きていく中で、苦しいことが99.9%（ドラマではありませんが）、0.1%に満たない喜びから得られるエネルギーによって、生き抜いていかなければなりません。そのときに、思い浮かべるのは、自分が一番頑張った時期のこと。そんなときに、「挑戦しておけばよかった」という後悔をしてほしくない。私は受験産業の出された判定にのみ支配はされていない。綺麗事はいいません。相生高校の今後のためにも、アピールできる数字は稼がたい。それでも、提示された大学というのは、皆さんがこの三年間で「目指したい」、「将来こうありたい」という発言に基づいたもので、なおかつ、次の勝負のタイミングで、メリットがあるところを、担任の先生が、皆さんとの日々の関わりを通じて、高校生活最後のバトンパスをしてくれたものです。

社会に出て想うことは、「力があれば出身なんて」が通用するのとは、芸能界やベンチャー企業で成功した人たちだけ。大多数の社会は、その他一同、つまりはその人自身よりも、その人がどんな傘を被っているかで決まってしまう。これも、まさに綺麗事では通らない、暗黙の了解の世界でもあります。

もし、出願に猶予がある人は、最後に受験の機会を設けてみませんか。

「行くつもりはない」。格好良いけれど、誰からも「来て」とはまだ言われていません。本当に行くつもりがないのなら、「来て」と言われたときに、「もつと行きたいところがあります」こんなことを言っている人の姿は、本当に格好良い。

最後のあがきでした。

今後の予定

- 一月 自由登校
 - 二日(水) 個別試験対策補習(二十二日まで)
 - 三日(水) 全校読書会
 - 十三日(土) 一、二年生登校日
 - 十四、十五日(日・月) 校舎内立入禁止
 - 十六日(火) 自然科学コース推薦入試
 - 二十一日(日) 自然科学コース推薦入試合格発表
 - 二十四日(水) 学年末考査
 - 二十五日(木) 国公立大学個別試験前期日程
 - 二十六日(金) 卒業式予行・表彰式
- 通常登校です。特に、皆勤賞の生徒は、この日の遅刻でも、皆勤賞は取り消されることとなります。注意して下さい。
- 二十七日(土) 第四十二回卒業式

先日、卒業式の案内を配布させて頂きました。本年度は、コロナウィルス禍の中、各家庭一名の参列を厳守して下さい。保護者の寵愛を受けた結果、迎える卒業式です。このような制限を設けることは胸が痛みます。ただ、生徒達にとって日々の困難を乗り越えて迎える良き日です。「二軒くらい」、「行ってしまうば断れないだろう」的な安易な行動には、生徒達が積み重ねてくれた、多くの辛抱・努力・これからの新しいスタートに水を差してしまいます。保護者の皆様におかれましては、どうぞご理解いただき、学校の体育館だけでなく、各家庭、仕事場、車内など、例年以上に広がりがある、素晴らしい卒業式となりますように、ご協力を強くお願いいたします。なお、卒業式の模様は、ダイジェストをDVDに編集して、後日各家庭に郵送させていただきます。

三月

十六日(火) 合格者体験発表会(四十三回生に向けて) 若干名の生徒にお願いをしたいと思います。断らないで。

登校禁止日を伝えておきます。ただし、三年生の言う登校禁止とは、校舎内立入禁止・校内立入禁止を言います。 十一日(木) 十五日(月)、十九日(金) 午前中

空けてしまったスペースを笑ってどうやって一冊で私の高校三年「1月」を振り返る

破天荒最終号の前に、空けてしまったスペースができました。三年間、皆さんには多くの努力を強いてきたことに対する少しの懺悔の気持ちを持って、淡い三十年以上の想い出を最後に残します。

当時から、二月になれば自由登校でした。私は、電車・バスを利用して通学していましたが、自由登校中も家を出る時間は同じでした。ただ、駅からバスで通っていた道を、ゆとりを持って歩いて登校しました。普段より時間は費やしましたが、それでも多くの一・二年生達よりも、教室に入るのは早かったと思います。他学年の授業中には図書室に移り、学校のチャイムを利用して集団力を保ちながら、充実した時間を過ごしました。先生に質問すること躊躇うこともありませんでしたが、私の中では、先生は最後の壁、側に質問する時間を持つたものです。この仕事に就いてある時期に、学年は違いましたが補習でお世話になった先生と、同じ学校で勤めさせてもらった際、その当時の私のことを恩師が覚えて下さったときには、受験生としては当たり前の時間を過ごしたただけだけれども、継続すれば景色の一部になることもあるのだと、感嘆したことも、良い思い出です。

このように書くことも、本当に強い気持ちを持ち続けて、当たり前を貫いたように見えるでしょう。でも、人はそんなに強いものではなく、学校を利用していたのには別の理由もありました。それは、当時は部の後輩と付き合っていました。君たちのような積極的な付き合いができたわけでもなく、一緒に帰ることもなければ、休みにどこかに遊びに行くわけでもない。部活動をしている時は、練習中・試合中に時間を共有していることに、楽しみを感じるような付き合いでした。いよいよ受験生として、勝負が終わるまでは、電話することも、会うのも我慢しようとして、心に決めて迎えた受験期でしたが、本当に人は弱いもので、自分に負けそうになった時に、偶然に会えることを期待して、ひよつとしたら自由登校中にせせと学校に通っていたかもしれませぬ。偶然会えた日には、モチベーションが上がり、集中力も上がったものです。そのような邪心のせいで、二次試験で罰を与えられたのかもしれない。そんな生活を送っていたことを知る、四十二回生の保護者もいらつしやる中で立ち上がった学年もあと少しです。

急がず焦らず、ひたむきに毎日の生活と向き合い、ひたすらに自分の突き進むべき道を歩きましょう。 学年として、次に会うのは卒業式予行の日。でも、相高生としての別れが、私達のゴールではありません。中期・後期までの約二週間を含めて、まずはそれぞれが得んするまで、付き合わせてください。何よりも付き合ってくださいね。 それでは、二月二十六日(金) 卒業式予行日 登校時間は通常通りです。